

北陸港湾ビジョンの概要

北陸港湾を取り巻く情勢

1. 北陸港湾を取り巻く社会経済情勢の変化

- ① 東南アジアをはじめとする新興市場の拡大と生産拠点の南下
- ② 農林水産物・食品の輸出拡大
- ③ 第4次産業革命の進展とSociety 5.0の実現
- ④ 生産年齢人口減少と物流における労働力不足
- ⑤ 資源エネルギー需要の変化
- ⑥ 自然災害の激甚化・頻発化とインフラ老朽化
- ⑦ 太平洋側港湾被災時の広域バックアップ体制構築の必要性
- ⑧ クルーズ市場の動向
- ⑨ 港湾における賑わい空間の発展
- ⑩ SDG sへの貢献
- ⑪ 新型コロナウイルス感染症の拡大

2. 北陸地域の特徴

- ① 三大都市圏に近接し日本海対岸諸国に面する地理的優位性
- ② 「北前船」寄港地として繁栄した北陸地域の歴史
- ③ 日本海側有数のものづくり産業の集積
- ④ 拡大する交通インフラネットワーク
- ⑤ 北陸各県の貨物流動から見る経済圏の繋がり
- ⑥ 豊富な観光資源
- ⑦ 厳しい気象条件による自然災害

3. 北陸港湾の現状

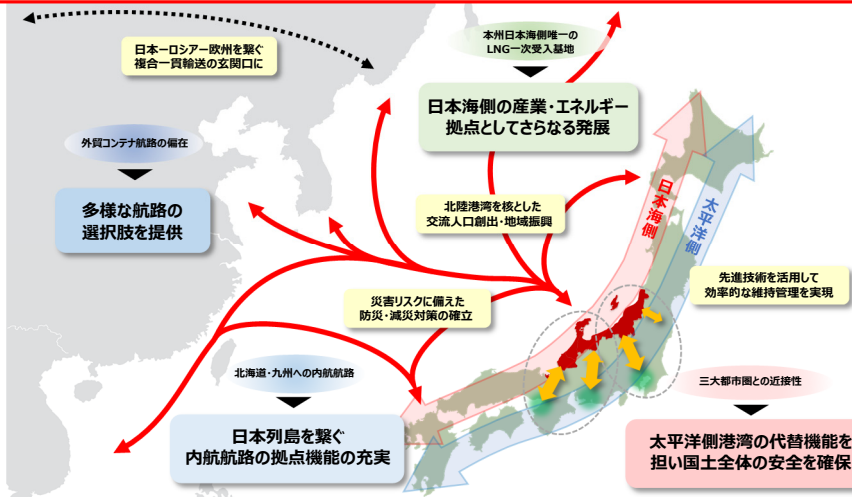
- ① 取扱貨物量の動向
- ② 就航航路
- ③ 外貿コンテナ貨物の特徴
- ④ 離島航路



社会経済情勢の変化や北陸港湾の現状を踏まえ、港湾へのニーズに対応し、持続可能な社会づくりに貢献する北陸港湾の目指すべき姿を提示

北陸港湾の目指すべき姿

北陸港湾の発展により、東南アジアや欧州等を見据えたより広域的な物流展開や、賑わい拠点における国内外の幅広い交流人口を創出するとともに、日本海側と太平洋側の連携強化によるネットワークの多重性・代替性の確保等を実現。



目指すべき姿の実現に向けて

<日本海北前船構想2030> ～広域交流拠点の形成と日本海・太平洋2面活用型国土の実現～

- 情報通信技術の活用や道路・鉄道等のインフラとの連携により、**地域や諸外国に広く開かれるとともに、日本海・太平洋の2面活用型の国土を実現する港湾を目指す**新たな考え方として、「**日本海北前船構想2030**」を提唱し、北陸港湾の目指すべき姿の実現に向けた施策の基本的方向性を示す。
- 本構想は、近年の国際・国内物流及び人流を取り巻く大きな情勢変化の中で、**北陸地域が国内外のあらゆる地域と人や物だけでなく文化的に強固に結びつき発展し、持続可能な社会づくりに貢献**することを目指すものであり、北前船を国際物流や産業、防災などを含む**港湾の広範な役割を多角的な連携により達成するための広域的なネットワーク**として捉え、新たな構想のシンボルとするものである。

物流 “繋げる”北前船 ～地域経済の成長力を底上げする物流の多様化・高度化～

① グローバルサプライチェーンを支える海上輸送網の構築

- ・ 航路多元化の検討
- ・ 国際物流ターミナル利便性向上のための施設整備、ふ頭集約・再編
- ・ 背後地の保管・流通加工機能の強化とシームレスな接続
- ・ 農林水産物・食品等の輸出促進のための体制強化
- ・ デジタルトランスフォーメーションの推進による国際港湾物流の効率化

② 持続可能で新たな価値を創造する高度な国内物流体系の構築

- ・ 内貿ユニットロードターミナル利便性向上のための施設整備、ふ頭集約・再編
- ・ 最新物流施設への転換による「次世代高規格ユニットロードターミナル」の具体化
- ・ 背後地の保管・流通加工機能の強化とシームレスな接続（再掲）
- ・ 内貿ユニットロード輸送航路の充実とモーダルシフトの推進
- ・ 港湾施設の整備・更新等による離島航路の利用促進、離島の防災拠点機能強化

産業 “地域とともに発展する”北前船 ～地域産業を支える日本海側エネルギー拠点の形成・循環型社会の構築～

③ 日本海側の資源エネルギー受入・供給等の拠点形成・機能強化

- ・ 北陸地域の産業競争力強化に資する港湾施設整備、ふ頭集約・再編
- ・ 多様なエネルギー受入環境の整備・利用促進
- ・ 地政学的・災害リスクに備えた資源エネルギーの調達先・輸送ネットワーク多様化の検討
- ・ LNGバンカリング拠点形成の検討

④ 港湾・物流活動のグリーン化による地球環境への負荷の軽減と環境の改善

- ・ 「カーボニュートラルポート」実現に資する取組推進
- ・ LNGバンカリング拠点形成の検討（再掲）
- ・ 内貿ユニットロード輸送航路の充実とモーダルシフトの推進（再掲）
- ・ リサイクルポート等の活用・機能強化

防災 “国土全体を守る”北前船 ～自然災害から国民のいのちと暮らしを守る北陸港湾の強靱化～

⑤ ハード・ソフト一体となった総合的な防災・減災対策の確立

- ・ 北陸港湾における防災・減災、国土強靱化対策
- ・ フェリー・RORO船の就航環境整備による物流網のリダンダンシー確保
- ・ 港湾BCPの実効性確保、協力体制の強化
- ・ 情報通信技術を活用した被災情報収集・共有システムの構築
- ・ リサイクルポート等の活用・機能強化（再掲）
- ・ 北陸港湾における安全・保安対策
- ・ 港湾施設の整備・更新等による離島航路の利用促進、離島の防災拠点機能強化（再掲）

⑥ 太平洋側での災害発生時の広域的なバックアップ体制の確保

- ・ 代替輸送訓練の実施・拡大
- ・ 代替輸送ルートの検討
- ・ フェリー・RORO船の就航環境整備による物流網のリダンダンシー確保（再掲）
- ・ 北陸港湾における代替機能確保

維持管理 “技術発展により持続する”北前船 ～北陸港湾におけるスマートインフラの実現～

⑦ 港湾建設・維持管理技術の変革等によるスマートインフラの実現

- ・ 港湾分野のI-Constructionの推進
- ・ 長期的な維持管理コストの削減
- ・ 維持管理計画等に基づく維持管理・更新の実施
- ・ 港湾建設における働き方改革や若年技術者への技術伝承

観光 “賑わいをつくる”北前船 ～多様なニーズに対応したクルーズ振興と地域連携による“楽しいみなと”づくり～

⑧ 地域資源を活かし多様なニーズに対応したクルーズ振興の促進

- ・ 関係者と連携したポートセールスの実施、多様なクルーズ商品の形成促進
- ・ 多様な交通モードと連携したクルーズ航路の形成
- ・ 背後市街地と連携したクルーズ受入環境整備、港湾機能の強化
- ・ 新型コロナウイルス感染症への対応

⑨ 地域と連携した交流拠点の形成による“楽しいみなと”づくり

- ・ 背後市街地と連携した魅力的なウォーターフロントの形成
- ・ みなとオアシスを核とした地場産品振興やイベントの開催、オアシス間の連携強化
- ・ 情報発信の強化

北前船による文化の連綿 ⇒ 持続可能な社会づくりに貢献

